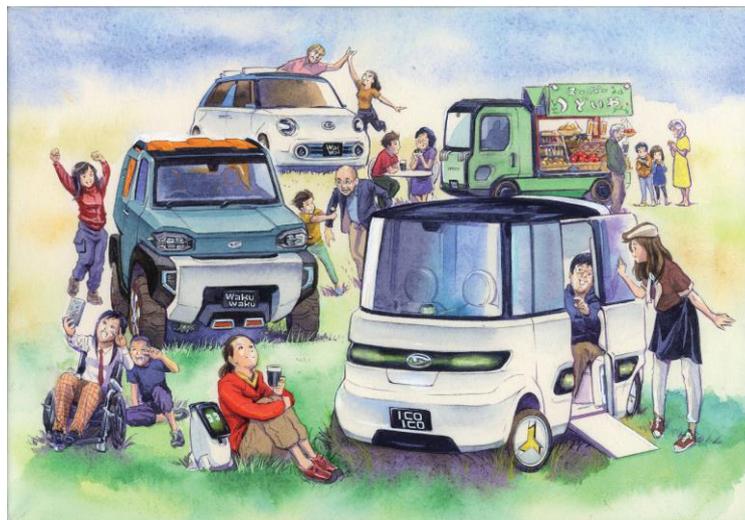


2019年10月8日  
(1/3)

## 第46回 東京モーターショーでは「つどい」をテーマに コンセプトカーや演出を通じて「あたたかな未来の暮らし」を表現



ダイハツ工業（株）（以下、ダイハツ）は、10月24日（木）から11月4日（月）まで、東京お台場エリアで開催される第46回東京モーターショーに、ワールドプレミアとなる4台のコンセプトカーを出展する。

ダイハツブースでは「つどい ～みんなの暮らしをあたたかく～」をテーマに、人々や日本の各地域がクルマをきっかけに、元気になっていく「あたたかな未来の暮らし」を、ブース全体で表現する。

また、すべての来場者が楽しめるモーターショーとなるよう、ブース内外での子供向けコンテンツも予定。ブース内には、キッズコーナーを設け、塗り絵体験などを実施。ブース外では、モーターショーで初めてとなる子供向け職業体験施設「キッズニア」とのコラボレーションエリアに、クルマを組み立てる仕事を体験できるコンテンツを出展する。

ワールドプレミアとなる4台のコンセプトカーは、それぞれが暮らしの中で使われているシーンや、使う方々の気持ちをイメージして「IcoIco」「TsumuTsumu」「WaiWai」「WakuWaku」とネーミングした。

「IcoIco」は自動運転により、ファーストワンマイルやラストワンマイルでの活躍を目指した「パブリックトランスポーター」、「TsumuTsumu」はコンパクトながら、ビッグキャビンと使い勝手の良い大きな荷台を両立させた「次世代軽トラック」のコンセプトカーとして、これからの日本の暮らしを支えるモビリティをイメージした。「WaiWai」は心地よい広さのジャストサイズミニバン、「WakuWaku」は軽SUVのコンセプトカーとして、クルマ本来の楽しさを大切にしたダイハツらしいスモールカーの提案とした。

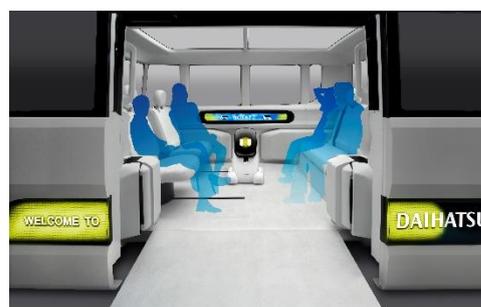


## 1. 「Icolco (イコイコ) & Nipote (ニポテ)」

“パブリックトランスポーター”

誰もが自らの意思で移動することをサポートし、ファースト/ラストワンマイルでの活用を目指した自動運転タイプのパブリックトランスポーター

- ◇クルマ椅子や大きな荷物を持った旅行者など、みんなの乗り降りを考え、格納式のスロープを搭載
- ◇自宅や目的地の前など細い道でも移動可能な車両サイズで、ファースト/ラストワンマイルでの活用を目指す
- ◇付属のお世話ロボット「ニポテ」に話しかけることで、移動に関わる生活をアシスト



## 2. 「TsumuTsumu (ツムツム)」

“多用途に対応する次世代軽トラック”

抜群の乗降性を持つビッグキャビンと、広い荷台を両立用途に合わせて荷台を換装することで、多くの「コト」に対応



- ◇荷台の長さを従来同等としながら、キャビン内を広く使える新しいレイアウト案を実現
- ◇新発想のドア開口により、抜群の乗降性を実現
- ◇従来の軽トラックの使い方にとどまらず、農業用ドローン基地や、個室空間など軽トラックの使い方の幅が一層広がる換装可能な荷台を設定





### 3. 「WaiWai (ワイワイ)」

“心地よい広さのジャストサイズミニバン”

みんなで楽しく出かけたくなる開放感あふれる室内空間

- ◇3列6人乗りの小型ミニバン
- ◇運転しやすいコンパクトな車両サイズながら、室内は開放感のあるサンルーフ仕様
- ◇従来のミニバンとは一線を画す、モダンフレンドリーなデザイン



### 4. 「WakuWaku (ワクワク)」



“遊びの世界を広げる軽クロスオーバー”

好きな荷物を積んで、どこまでも行きたくなる、一番身近なサイズのK-SUV

- ◇使い倒せる荷室空間とルーフラゲージを装備
- ◇頼れる骨太な印象の内外装デザイン



お客様からのお問合せについては、ダイハツお客様コールセンター (Tel 0800-500-0182) にお問い合わせ致します。

以上